

はくさい調査方法

1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区(1区当り)		4畝×12株=48株(4畝×7株=28株)	14.4㎡(8.4㎡)
調査対象*** (1区当り)	生育調査等	20株(10株)	6.0㎡(3.0㎡)
	収量調査等	20株(10株)	6.0㎡(3.0㎡)

*: 栽植密度を畝幅60cm×株間50cm、a当り333株としたときの面積

2 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁調査
発芽	期	播種粒数の40~50%が発芽した日	C	観察	月日	1
	良否	発芽の揃い、発芽勢の程度を観察 [良]5~[不良]1	B	観察	指数	1
定植時の苗質	葉数	葉長2cm以上の葉	A	測定	枚	1
	葉長	最大葉長	A	測定	cm	0.1
結球	始期	10%の株で球の形成を認めた日	C	観察	月日	1
	期	40~50%の株で結球始となった日	A	観察	月日	1
生育(結球期)	葉数	葉長2cm以上の葉	A	測定	枚	1
	葉長	最大葉長	A	測定	cm	0.1
収穫	始期	10%の株が収穫可能な日	C	観察	月日	1
	期	40~50%の株が収穫可能な日	A	観察	月日	1
	終期	収穫を終えた日又は収穫打ち切り日	C	観察	月日	1
	日数	収穫始期から終期までの日数	C	算出	日	1
結球日数		結球始期より収穫期までの日数	C	算出	日	1
生育日数		播種期から収穫期までの日数	B	算出	日	1
障害の発生程度	病虫害	軟腐病、根こぶ病、アブラムシなど	障害の種類別に発生株率で 0: 無 発生が認められない 1: 微 10%未満の株に発生 2: 少 10~20%未満の株に発生 3: 多 20~40%未満の株に発生 4: 甚 40%以上の株に発生	A	観察	指数
	生理障害	要素欠乏など				
	抽台					

3 収量調査(a当り)

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査	
障害株数		収穫不能な病虫害および未結球株	B	測定	株	1	
収穫球数	規格内	出荷基準による	B	測定	個	1	
	規格外		B	測定	個	1	
	障害		B	算出	個	1	
	合計			測定			
規格別収量	規格内	2L	出荷基準による 3,000g以上	B	測定	kg	10g
		L	2,500~3,000g未満	B	測定	kg	10g
		M	2,100~2,500g未満	B	測定	kg	10g
		計		A	算出	kg	10g
	規格外		A	算出	kg	10g	
	合計		A	算出			
同上割合		$((2L \sim M) / \text{規格別収量合計}) \times 100$	C	算出	kg	10g	
地上部重		規格内株の 外葉重+結球重	C	測定	kg	10g	
調製率		$(\text{規格内結球重} / \text{地上部重}) \times 100$	B	算出	%	1	
障害球 および 規格外球数割合	規格外 内小球	(各球数/栽植株数) × 100	A	算出	%	1	
			B	算出	%	1	
	規格外 内軟球		B	算出	%	1	
			A	算出	%	1	
	病虫害 抽台球 生理障害		A	算出	%	1	
			A	算出	%	1	
欠株率		$(\text{栽植株数} - (\text{障害株数} + \text{収穫球数}) / \text{栽植株数}) \times 100$	B	算出	%	1	

4 特性調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
平均一球重		規格内収量/規格内球数	A	算出	g	1
球形指数		規格内球の (球高/球径) × 100	A	算出		1
球の外観、食味等品質評価	球品質	球形、しまり、内部色、障害の有無等外観形質評価 [良]5~[不良]1 [濃黄]5~[淡黄]3~[白]1 角切り等により、硬さ、甘さ、辛味、苦み、多汁性を評価[良]5~[不良]1 [良]5~[不良]1	A	観察	指数	1
	心色		A	観察	指数	1
	食味		A	観察	指数	1
	総合評価		A	観察	指数	1

